

# あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

## 2016年 新春を迎えて

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶びいたします。また、平素より、四国地方整備局の港湾・空港行政にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月に来襲した台風11号により、徳島沿岸でも若干の被害が発生した他、チリ沖地震による津波注意報が発令される等、防災の大切さを実感した年であったように思います。一方、当事務所の事業に目を向けますと、徳島小松島港沖洲外地区の複合一貫輸送ターミナルが供用開始された他、赤石地区の徳島小松島港コンテナターミナルの定期コンテナ航路が中国まで延伸される等、港湾整備の成果が目に見える形で確認出来た年でもありました。

四国では、南海トラフ巨大地震への備えや、老朽化したインフラ対策が喫緊の課題となっており、当事務所では、撫養港海岸の堤防改良、徳島小松島港沖洲外地区の防波堤延伸、同金磯地区の岸壁改良、海洋環境整備の各事業を鋭意進めていく予定です。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

小松島港湾・空港整備事務所長 佐野正佳

## TOPIX

### ●複合一貫輸送ターミナルの供用開始

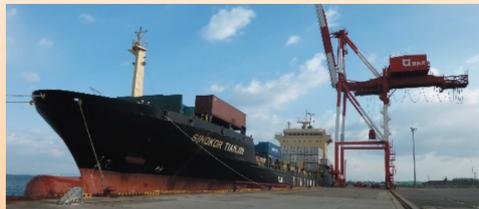
平成21年度から徳島県と四国地方整備局が徳島小松島港沖洲外地区に整備してきた複合一貫輸送ターミナル(フェリーターミナル)が完成し、フェリー運航会社の新造船「フェリーびざん」の初入港に合わせて平成27年12月26日に記念式典が開催されました。



初入港した「フェリーびざん」↑

### ●コンテナ定期航路が中国に延伸

徳島小松島港～韓国釜山間に週3便運行している定期コンテナ航路のうち1便が中国天津・大連まで延伸され、第1便の入港に合わせて平成27年12月4日に歓迎式典が行われました。航路延伸と合わせてコンテナ船が大型化され、最大積載個数が20フィートコンテナで約850個とこれまでの約2.5倍になり、輸送能力も大きく向上しました。



中国延伸第1便として寄港したコンテナ船「SINOKOR TIANJIN」↑

## INDEX ▶

- 2016年 新春を迎えて  
TOPIX「複合一貫輸送ターミナルの供用開始」「コンテナ定期航路が中国に延伸」…………… 1
- みなと報告  
みなとオアシス防災訓練を開催…………… 2
- みなと通信  
新しい港湾業務艇の船名を募集します…………… 4